

大豆近況 VOL.173

団体会員
一般会員 各位
賛助会員
協賛企業

関係部署にご回覧ください。

令和5年5月8日
一般財団法人 全国豆腐連合会

「大豆近況」をお届け致します。是非、ご活用下さい。

○北米産大豆

4月のシカゴ相場(2023年7月限)は、\$14.95/bus近辺から始まり、最終的には月初よりも下落し、\$14.07/bus程の引けとなりました。

米国農務省が4月11日に発表した、2022/2023年度の米国大豆需給報告の詳細は下記表のとおりとなっております。

2022/23年度 米国産大豆 需給表

項目 / 発表月	①	②	② - ①
	2023年3月	2023年4月	
作付面積 (百万エーカー)	87.50	87.50	0.00
収穫面積 (百万エーカー)	86.30	86.30	0.00
差異 (百万エーカー)	1.20	1.20	0.00
収穫率 (%)	98.63	98.63	0.00
単収 (ブッシェル/エーカー)	49.50	49.50	0.00
期初在庫予想 (百万t)	7.46	7.46	0.00
生産量 (百万t)	116.38	116.38	0.00
輸入量 (百万t)	0.41	0.41	0.00
総供給量 (百万t)	124.27	124.27	0.00
搾油用 (百万t)	60.42	60.42	0.00
輸出 (百万t)	54.84	54.84	0.00
種子用 (百万t)	2.78	2.78	0.00
その他 (百万t)	0.52	0.52	0.00
総需要量 (百万t)	118.53	118.53	0.00
期末在庫 (百万t)	5.72	5.72	0.00
在庫率 (%)	4.82	4.82	0.00
農家平均価格 (\$/bu)	14.30	14.30	0.00

供給面及び需要面、いずれも先月から変更はありませんでした。

また、4月16日より米国では大豆の作付けが始まっています。進捗状況に関しては下記のとおりとなっております。

2023年産 米国産大豆 クロップレポート

作付(%)	4月16日	4月23日	昨年同日	5年平均
全18州	4	9	3	4

4月23日時点では、前週16日より5%進み、作付進捗率は9%となっております。昨年同日及び5年平均と比較しても進んでいる事が読み取れます。また作付けが始まって間もなく、作柄を判断するには難しい状況ですが、順調なスタートが切れていると言えます。

また、2022/2023年度の世界大豆需給報告の詳細は下記表のとおりとなっております。

2022/23 世界の大豆 需給表

項目 / 発表月		①	②	② - ①
		2023年3月	2023年4月	
世界大豆需給	期初在庫予想 (百万t)	99.00	99.73	0.73
	生産量 (百万t)	375.15	369.64	-5.51
	輸入量 (百万t)	165.39	164.76	-0.63
	国内搾油用 (百万t)	320.04	315.20	-4.84
	国内消費 (百万t)	371.13	365.83	-5.30
	輸出 (百万t)	168.40	168.00	-0.40
	期末在庫 (百万t)	100.01	100.29	0.28
	在庫率 (%)	26.95	27.41	0.47
主要輸出国 生産内訳	米国 (百万t)	116.38	116.38	0.00
	アルゼンチン (百万t)	33.00	27.00	-6.00
	ブラジル (百万t)	153.00	154.00	1.00
	パラグアイ (百万t)	10.00	10.00	0.00
中国輸入量 (百万t)		96.00	96.00	0.00

先月比で供給面は期初在庫が上方修正、生産量、輸入量が下方修正となり、需要面では国内搾油用、国内消費、輸出が下方修正となった結果、期末在庫は100.29百万トンと先月比0.28百万トンの上方修正となりました。

現在、ブラジルでは収穫が進んでおります。最新の情報では進捗率は85.0%となっており、昨年同時期が87.1%ですので、昨年と同程度まで遅れを取り戻している状況です。またこの状況を踏まえ、上記需給表のとおり、生産量は先月よりも1百万トン上方修正されております。一方、ア

ルゼンチン産大豆は、作柄優良割合は 3%(昨年同時期:24%)と低く、また作柄不良割合 65%(昨年同時期:15%)となっており、昨年よりも非常に厳しい状況であると言えます。このような状況から、生産量は上記需給表のとおり、先月よりも 6 百万トンの下方修正となり、27 百万トンとなりました。ブラジル産大豆の記録的な増産がほぼ確実な状況ではありますが、それ以上にアルゼンチン産大豆の不作の影響が大きく、南米全体で考えた場合、生産量は先月よりも 5 百万トン下方修正となっております。この結果は相場にとって強材料となりますが、相場には既に織り込み済なのかもしれません。「ブラジル産大豆の豊作がほぼ確定なため、南米産大豆の生産量は心配ない」という見方も出来ますが、作柄には引き続き注意が必要です。

南米の大豆を取り巻く環境以外で相場に影響を与える要因として、中国を中心とした世界需要があります。大豆輸入大国である中国の動向ですが、中国農務省から「今年度の中国国内大豆作付面積は、菜種の作付を優先するため増産しない」と発表されました。この発表は、他国からの買付を増やす可能性が高まったと言えるために相場にとっては強材料となります。またロシア・ウクライナの国際情勢等も相場へ影響を与える場合がありますので、引き続き注意が必要と思われる。

北米産大豆の入港状況は、米西海岸からの配船は安定してきたものの、大豆産地からの貨車輸送は相変わらず不安定な状況です。また、海上運賃はピークを脱してきていますが、依然として高値で推移しています。

○為替相場

4 月の円相場は、1 ドル 132 円前半から始まりました。しばらくは大きな変動はありませんでしたが、4 月中旬頃に、ニューヨーク連銀、ウィリアムズ総裁による「FRB(連邦準備制度)があと 1 回利上げに動くことは理にかなう」と発言、また氷見野、内田日銀副総裁及び植田日銀総裁による金融緩和を継続する方針である旨の発言によって、ドル高となり、1 ドル 134 円台まで円安が進みました。その後、多少の変動はありましたが、最終的には 1 ドル=134 円後半で引けという月になりました。米国のインフレ状況・政策金利の動向等により、今後も為替は大きく変動し易い状況であり、他国の情勢だけではなく日本銀行の金利政策の方針にも注視する必要があります。

○国産大豆

令和 4 年産国産大豆収穫後入札会の第五回目が 2023 年 4 月 12 日(水)に行われました。結果は次ページのとおりとなっております。(「-」は前月に上場されていないため、比較対象がないという意味になります。)

令和5年 4月の入札取引結果(普通大豆)

産地	粒別	品種銘柄	上場数量 (60kg俵数)	落札数量 (60kg俵数)	平均落札価格 (円/60kg)	前月との比較	
						3月 平均落札価格 (円/60kg)	4月 - 3月 平均落札価格 (円/60kg)
北海道	大粒	とよまさり	27,602.0	27,437.0	10,117	10,224	-107
	中粒	とよまさり	1,815.0	1,815.0	9,931	9,884	47
	小粒	スズマル	495.0	165.0	8,010	9,000	-990
	極小粒	スズマル	330.0	330.0	9,850	-	-
	小粒	ユキシズカ	5,280.0	3,630.0	8,550	8,439	111
	極小粒	ユキシズカ	165.0	165.0	10,200	10,000	200
		その他	330.0	330.0	8,720	8,010	710
岩手	大粒	リュウホウ	1,815.0	1,815.0	9,505	9,808	-303
	大粒	シュウリュウ	825.0	825.0	8,618	9,175	-557
宮城	大粒	ミヤギシロメ	660.0	660.0	11,763	11,757	6
	中粒	ミヤギシロメ	330.0	330.0	11,110	11,410	-300
	大粒	タチナガハ	990.0	990.0	10,435	10,685	-250
秋田	大粒	リュウホウ	495.0	495.0	9,117	-	-
	中粒	リュウホウ	1,320.0	1,320.0	8,458	9,156	-698
		その他	165.0	165.0	8,060	-	-
山形	大粒	里のほほえみ	1,815.0	1,815.0	9,454	9,530	-76
	大粒	リュウホウ	330.0	330.0	8,700	8,617	83
	中粒	リュウホウ	330.0	330.0	8,865	8,835	30
	大粒	エンレイ	330.0	330.0	9,400	10,200	-800
	中粒	エンレイ	495.0	495.0	8,567	9,700	-1,133
福島	大粒	里のほほえみ	825.0	660.0	8,325	8,200	125
茨城	大粒	里のほほえみ	1,980.0	1,980.0	9,922	9,405	516
	小粒	納豆小粒	825.0	-	-	-	-
	極小粒	納豆小粒	330.0	-	-	-	-
栃木	大粒	里のほほえみ	1,650.0	1,650.0	9,331	9,456	-125
群馬	大粒	里のほほえみ	165.0	165.0	8,030	-	-
千葉	大粒	フクユタカ	330.0	330.0	9,120	9,720	-600
	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	8,030	8,820	-790
新潟	大粒	里のほほえみ	990.0	990.0	9,440	9,356	84
	中粒	里のほほえみ	165.0	165.0	8,850	-	-
	大粒	エンレイ	165.0	165.0	11,570	11,520	50
	中粒	エンレイ	495.0	495.0	8,030	8,960	-930
富山	大粒	エンレイ	165.0	165.0	11,980	-	-
福井	大粒	里のほほえみ	330.0	330.0	9,370	9,515	-145
長野	大粒	ナカセンナリ	1,320.0	1,320.0	8,665	8,578	87
	中粒	ナカセンナリ	165.0	165.0	8,020	8,835	-815
岐阜	大粒	フクユタカ	825.0	825.0	8,030	11,163	-3,133
	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	11,940	9,320	2,620
		その他	165.0	-	-	-	-
滋賀	大粒	オオツル	330.0	330.0	9,795	9,737	58
	中粒	オオツル	165.0	165.0	9,410	9,070	340
	大粒	ことゆたか	1,815.0	1,815.0	8,865	9,717	-851
	中粒	ことゆたか	165.0	165.0	8,030	9,010	-980
	大粒	フクユタカ	825.0	825.0	9,720	11,447	-1,727
	中粒	フクユタカ	1,155.0	1,155.0	9,523	10,150	-627
山口	大粒	サチユタカ	330.0	330.0	9,645	9,483	163
	中粒	サチユタカ	330.0	330.0	9,470	10,380	-910
愛媛	中粒	フクユタカ	495.0	495.0	8,030	-	-
福岡	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	13,580	13,020	560
	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	12,765	12,070	695
		その他	495.0	495.0	9,887	9,652	235
佐賀	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	13,415	12,540	875
熊本	大粒	フクユタカ	495.0	495.0	13,357	13,145	212
	中粒	フクユタカ	660.0	660.0	12,343	11,640	703
大分	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	12,680	-	-
	中粒	フクユタカ	165.0	165.0	12,410	-	-
全国			65,882.0	62,252.0	9,766	9,926	-159

前月と比較すると全国平均は約¥160/60kg 下がり、¥9,766/60kg と前回に引き続き下落しました。北海道産とよまさり系は先月と比較すると、約¥100/60kg 程下がりましたが、依然として¥10,000/60kg を超える価格を維持しております。他の産地に関して、九州以外は全体的に下がっております。下げ幅も大きく、岐阜及び滋賀のフクユタカは特に大きな下げ幅となっております。(岐阜フクユタカ大粒は約¥3,100/60kg、滋賀フクユタカ大粒は約¥1,700/60kg)

逆に九州産フクユタカは先月よりも高騰している点から、同じ品種でも産地による価格の違いが大きく表された結果となりました。

また令和5年産国産大豆播種前入札会が2023年4月24日(月)に行われました。結果は次ページのとおりとなっております。(「-」は前年に上場されていないため、比較対象がないという意味になります。)

令和5年産 国産大豆 播種前入札 落札価格 比較表

産地・品種	粒区分	品位区分	上場数量 (トン)	落札数量 (トン)	R05 平均 落札価格 (60kg)	R04 平均 落札価格 (60kg)	R05 - R04 価格差 (60kg)
北海道ユキホマレ	大粒	普通・3等以上	4,752	4,703	9,720	9,508	212
北海道とよみづき	大粒	普通・3等以上	901	901	9,914	10,127	-213
北海道とよまどか	大粒	普通・3等以上	426	426	9,416	-	-
北海道ユキシズカ	小粒	普通・3等以上	990	495	8,786	8,441	345
北海道スズマル	小粒	普通・3等以上	238	40	8,258	8,753	-495
青森おおすず	大粒	普通・3等以上	525	525	8,639	8,648	-9
岩手リュウホウ	大粒	普通・3等以上	356	356	9,016	9,186	-170
宮城ミヤギシロメ	大粒	普通・3等以上	663	663	8,893	9,004	-111
宮城タチナガハ	大粒	普通・3等以上	376	376	8,865	8,830	35
宮城タンレイ	大粒	普通・3等以上	297	297	8,720	8,841	-121
秋田リュウホウ	大粒	特定加工用以上	851	851	9,274	9,180	94
山形里のほほえみ	大粒	普通・3等以上	317	317	9,258	9,277	-19
茨城里のほほえみ	大粒	普通・3等以上	198	198	9,297	9,075	222
栃木里のほほえみ	大粒	普通・3等以上	307	307	9,133	9,345	-212
新潟エンレイ	大粒	特定加工用以上	267	267	9,688	9,940	-252
新潟里のほほえみ	大粒	特定加工用以上	436	436	9,328	9,357	-29
富山エンレイ	大粒	特定加工用以上	1,257	1,257	9,920	9,795	125
富山シュウレイ	大粒	特定加工用以上	406	406	9,710	9,737	-27
石川里のほほえみ	大粒	特定加工用以上	149	149	9,367	9,640	-273
福井里のほほえみ	大粒	特定加工用以上	129	129	9,760	9,798	-38
長野ナカセンナリ	大粒	普通・3等以上	99	99	8,832	8,796	36
岐阜フクユタカ	大粒	普通・3等以上	287	287	10,959	11,328	-369
愛知フクユタカ	大粒	普通・3等以上	535	535	11,352	11,760	-408
三重フクユタカ	大粒	普通・3等以上	307	307	10,786	11,304	-518
滋賀フクユタカ	大粒	普通・3等以上	297	297	11,217	11,494	-277
滋賀ことゆたか	大粒	普通・3等以上	297	297	9,987	10,131	-144
山口サチュタカ	大粒	特定加工用以上	30	30	9,880	9,650	230
福岡フクユタカ	大粒	普通・3等以上	406	406	12,970	12,875	95
福岡ちくしB5号	大粒	普通・3等以上	505	505	11,940	-	-
佐賀フクユタカ	大粒	普通・3等以上	1,208	1,208	12,832	12,886	-54
熊本フクユタカ	大粒	普通・3等以上	248	248	12,632	12,513	119
計			18,058	17,315	10,048	10,057	-9

前年、令和4年産の結果と比較すると全国平均は、¥10/60kg程しか変わらず、ほぼ据え置きという結果になりました。全体的には下落している品種が多い結果となっておりますが、上場・落札数量の多い北海道ユキホマレの価格が高騰している事により、全体平均価格の据え置きという結果となりました。

次回、第六回の収穫後入札会は2023年5月17日(水)実施予定となっております、約5,000トンの上場が予定されております。先月に引き続き、今月も下落している点、また播種前入札も北海道大豆以外は軟調傾向である点を踏まえると、今後の収穫後入札会も軟調な価格推移となるかもしれません。

以上